



教育活動の更なる充実を

教頭 大澤 充

今年度は例年になく、早い梅雨明けになりました。6月末から猛暑が続き、冷房を入れる日が続きました。児童生徒の健康面が心配されましたが、元気いっぱい登校する姿を見るたびに、力をもらいます。

また、西日本では、記録的豪雨に伴う河川の氾濫で多数の犠牲者が出ました。心よりお見舞いを申し上げます。

今年度は、児童生徒281名でスタートしました。児童生徒一人一人が輝き、成長した姿はとても頼もしい限りです。

さて、6月29日（金）には第1回学校評議員会及び学校評価懇話会が実施されました。埼玉県立学校では、学校が地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者の皆様や地域の方々等の意見を把握、反映し、その協力を得るために学校評議員会を設置しています。本校でも特別支援教育にする識見を有する方から、校長の推薦により、委員を県教委が委嘱しています。会議では、授業視察、校長から学校経営方針、教頭から学校自己評価システムシートを基にして教育活動全般について説明を行い、その後委員の皆様より意見をいただきました。（一部抜粋）

○今年度の学校評議員及び学校評価懇話会委員

白井 健次 氏	立正大学社会福祉学部准教授	深野 聡 氏	社団法人東京乗馬倶楽部
持田 栄 氏	深谷市立川本中学校長	福島 正孝 氏	深谷市川本公民館長
杉山 睦郎 氏	埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 企業支援アドバイザー	滝沢 麻里 氏	PTA 副会長
高橋 清顕 氏	特定非営利活動法人 そうだんべ 障害者相談支援センター 八分目	大前 静恵 氏	PTA 副会長
石川 幸衛 氏	PTA 会長	田部井 亜希 氏	PTA 副会長
		生徒代表	本校生徒会長

意見や質問等

- 中学部の支援籍が多いが、受け入れの背景等何かあるのか。
- 児童生徒たちの笑顔、元気な姿を見られてうれしい。
- 主体性をキーワードに研究を進めているようだが評価はどのように行うのか。
- 今後も実習を通して、学校と企業を繋いでいきたい。
- 知っている生徒の顔も見られた。改めて彼らの受け皿として、福祉の世界でどう支えていくか考えていきたい。
- ボランティア拡充はどのように行っているのか。

さらに、就職後の状況、情報機器の活用、耐震対応等、多くの質問や意見をいただきました。今後も外部の有識者の貴重な意見を活かし、本校の教育活動の更なる充実に向け、改善に努めてまいります。

明日から夏季休業に入ります。保護者の皆様には、学校行事、各学部行事への参加など、お忙しい中、ご来校いただき深く感謝申し上げます。また、本校へのご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。2学期以降も子どもの更なる成長のため、全教職員が一丸となって取り組んでまいります。

暑い日が続きますので、体調管理には十分ご注意ください。2学期の始業式には、児童生徒の元気な顔を見られることを楽しみにしております。